

# 宝木校区 人推協だより

地域づくりは  
人権尊重の視点で

会長 秋山 智博

今年度の総会で、役員改選があり、再任となりました。宝木校区の皆様には、たいへんお世話になりますが、引き続きよろしくお願いいたします。

○人権啓発推進員を  
求めています。

現在、協議会の運営の柱である人権啓発推進員が四名の枠に対し、実質一名のスタートとなりました。人権啓発推進員を受けていただける方を求めています。(四名から年々減少し、今年度は一名。)人権啓発推進員は、会長、副会長とともに三役会を構成し、総会で決定した事業計画を具体化し推進しています。また、各種の人権講座への参加で人権感覚を学び、深く・広く理解するよう努めています。

そして、この人権啓発推進員は、校区内の住民一人ひとりが、かけがえない存在として支えあい・助けあっていける地域をつくっていかうと思っております。ける方でしたら、どなたでも出来る役です。どうかご協力をお願いいたします。

○私たちの校区から人権文化をつくりあげていこう。

人権推進活動は、人権尊重の理念が、家庭・地域・職場・学校などすべての生活において文化として定着していくことを目指しています。

私たちの地域から率先して身近なことについて、人権の視点で見つめ直し、感性を高め、行動につながるように努めていこうではありませんか。以下、そのための項目を列記します。

(一) 他の人を理解する出発は「あいさつ」から

(二) 知らないことが多いから「相手を思う想像力」

(三) さまざまな価値観・年齢・国籍などの違いがあるからこそ「多様性の容認」  
(四) 一人で生きていけない、お互いに支えあっている「共生の心」

(五) 人権侵害の当事者の痛みがわかる「感性を育む」  
(六) 人のことを知り理解するため、自分の心を開いて「さまざまなたとの交流」をする

以上のように、誰もが「幸せに生きたい」という願いを大切に生きたい心にかけていけば、必ず住みやすい地域となっていくことと思えます。

## 宝木地域座談会の 取り組みについて

人権啓発推進員 藤本 高一

宝木校区人権啓発推進協議会の取り組みとして、宝木校区九地区の地域座談会と、酒津地区公民館・宝木地区公民館・気高人権福祉センターでの持ち回りでやっているふれあい交流会などを年間事業の柱として行っています。

「人権」という言葉は、なんだか堅苦しい、自分には関係ないものにとらえる人も多いのではと思います。現実の社会では、保護者からの虐待によって子どもの命が奪われたり、パートナーからのDVにより心や身体に深い傷を受けた人、高齢だから、障がいがあるから、同和地区だから、外国人だから、ということとで差別を受けることもありま。さまざまに病気に対する誤った認識や偏見により、故郷に帰ることのできない方もいます。どれも痛ましい人権問題です。さまざまに人権問題に対し、宝木校区の九地区の皆さんと一緒に、人権啓発ビデオを視聴しながら話し合い、共に人権について理解を深め、考える場であればと思っています。

の年度の  
あい交流会  
のふれあ  
うようす



生活困窮者自立支援制度が  
本年度4月からはじまりました



ご存知  
ですか？

平成27年度 事業計画



生活保護の一步手前の「第2セーフ  
ティーネット」といわれる制度です。  
経済的困窮と社会的孤立に悩む生活  
困窮者を早期に把握し、生活と就労に  
必要な支援へとつなぐものです。

自治体が窓口で、自立相談支援、住  
宅確保給付金の支給、就労準備支援、  
一時生活支援、生活困窮者の子どもの  
学習支援などをしていきます。

人権尊重は、生活支援も大切です。  
社会的に孤立する人が無いよう、皆で  
支える地域づくりのために、この制度  
を理解していきましょう。

窓口 鳥取中央人権センター  
電話 0857-24-8241  
鳥取市生活福祉課  
電話 0857-20-3476

期 日	会	研 修	広 報
4月	監査会		
5月	総会・三役会		
6月	各部会	推進員全体研修会	人推協だより発行
7月		役員研修	
8月	三役会・役員会		
9月	小地域懇談会		
10月			
11月		推進員全体研修会	
12月	三役会・役員会		
1月			
2月			
3月	三役会	交流会	人推協だより発行

部落選出人権学習推進員

平成27年度

集 落	人権学習推進員
上 光	岡田みきお
	岡田 昌巳
下光元	村田 憲昭
	原 克栄
夏ヶ谷	山本 一正
	山本 一夫
常 松	谷川 和美
富 吉	佃 加津浩
宝 木	吉村 文夫
	木下 茂
水 尻	松本 稔
	山本 清和
奥沢見	谷中 健美
酒 津	西垣 守
	澤田 保男

役員名簿

平成27年度～28年度

職 名	集 落	名 前	区 分
会 長	夏ヶ谷	秋山智博	解放同盟気高支部長
副 会 長	富 吉	吉田和行	宝木地区公民館長
	酒 津	西垣 守	酒津地区公民館長
人 権 啓 発 員 推 進 員	夏ヶ谷	秋山智博	解放同盟気高支部長
	宝 木	藤本高一	解放同盟気高支部役員
幹 事	酒 津	西尾雅彦	部落区長・地域審議会委員
	上 光	岡田みきお	部落区長・福祉委員
	下光元	村田憲昭	部落区長・福祉委員
	夏ヶ谷	山本範隆	部落区長・福祉委員
	常 松	谷川和美	常松公民館長
	富 吉	佃 加津浩	部落区長・福祉委員
	宝 木	吉村文夫	部落区長・福祉委員
	水 尻	松本 稔	部落区長・福祉委員
	奥沢見	谷口政則	部落区長・福祉委員
監 事	酒 津	瀧本昭良	地域福祉推進協議会理事
	下光元	山本京子	学 識 経 験 者
顧 問	酒 津	河根裕二	保 護 司
	上 光	岡田寿晃	学 識 経 験 者
事 務 局	酒 津	那須公恵	酒津地区公民館
	宝 木	森 浩美	宝木地区公民館

最近、人の生死にかかわるよ  
うな、あまりにも悲しいニュース  
が多く、それを観ると本当に心が  
痛みます。  
校区人推協では、小地域懇談  
会・ふれあい交流会等で、身近な  
人権問題について考えたり、交流  
の輪を広げていけたらと思ってお  
ります。  
周りの人のことを理解し、思い  
やることが出来る地域にしていき  
ましょう。

編集後記

